

消防団を中核とした 地域防災力向上の取組



総務大臣 金子 恭之

消防団や自主防災組織、女性防火クラブ、少年消防クラブなど、地域の消防・防災活動に携わっておられる関係者の皆様におかれましては、日頃より、地域の安心・安全の確保のために御尽力いただいておりますことに、心より敬意を表し、感謝申し上げます。

令和3年10月4日に発足した第一次岸田内閣、続いて11月10日に発足した第二次岸田内閣で総務大臣を拝命いたしました。地方行財政、情報通信、統計など幅広い行政分野を担当する総務大臣は、消防防災分野も担当させていただくことから、その職責に身の引き締まる思いでおります。

近年、全国各地で重大な災害が多発しています。

昨年の令和2年7月豪雨では、私の地元の熊本県も、河川の氾濫や浸水等により大きな被害を受けました。その際、地元消防本部や、速やかに派遣していただいた緊急消防援助隊、自衛隊などの政府関係機関のみならず、地元の消防団をはじめとした地域の消防・防災活動に携わっていらっしゃる方々によって、避難誘導や家屋の土砂の撤去などが行われ、地域住民は大いに助けられるとともに、強く勇気づけられました。私も、地域防災力の重要性を改めて感じたところです。

これまでも災害対策特別委員長を務めるなど、政治家としても防災に力を入れてきましたが、総務大臣としても改めて力を入れて取り組んでいかなければならないと考えています。

今後ますます多発化・激甚化することが懸念される災害に対応するためには、地域防災力を一段と高める必要があります。国や自治体による対応（公助）だけでなく、自分の身を自らの努力によって守り（自助）、地域や近隣の人々が互いに協力し合いながら防災・救助活動に取り組む（共助）という、「自助」「共助」「公助」の3つの働きが一体となって機能することが重要であります。

特に、「共助」の中心的役割を担う消防団や自主防災組織、女性防火クラブ、少年消防クラブには益々期待が高まっております。総務省としても、「共助」を担う人材が確実に確保され、能力を高め、地域の防災力が高まるよう全力で支援してまいります。

皆様、共に頑張りましょう。